進路だより

令和4年度 第2号

下関南総合支援学校 進路部 令和4年5月31日

進路だより第2号では「キャリア教育」についてお伝えします。キャリア教育は子どもたちが自身の夢や将来の目標を考え、自尊感情を育みながら生きることへの意欲の向上をめざすことにより、社会貢献への意欲に結びつけるものと考えます。本校では今年度も早期からのキャリア教育・職業教育の推進を具体的取組の一つとして挙げています。家庭・学校・地域のつながりの中で、幼児児童生徒の自立と社会参加を目指すために、進路だよりを通して、「キャリア教育」について理解を深めていければと思います。

〈キャリア教育って何?〉

新しい学習指導要領にも登場してくる「キー」ア教育」。職業教育 ? 勤労観を育てること?・・・それだけではありません。これを含む、生きていくために必要な能力や態度、挨拶や礼儀、基盤となる心やからだや様々な技術を育てていく教育です。

〈キャリア発達って何?〉

〈どんなことを身に付けるの?〉

キャリア教育はキャリア発達を支援する教育です。幼・小学部のころから様々な体験を通して、自分のしたいことや好きなことは何なのかを見つけて将来の夢につなげたり、自分のできることを増やし、自分の良さを伸ばしたりしてほしいです。キャリア教育で育成すべき力として、基礎的・汎用的能力(人間関係形成・社会形成能力、自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)が示されています。第1号でお伝えした「わたし(ぼく)のパスポート」ではこの基礎的・汎用的能力の4つの力を「人間関係形成・社会形成能力=人と関わる力」、「自己管理能力=自分を見つめる力」、「課題対応能力=やりきる力」、「キャリアプランニング能力=かなえる力」で示しています。(図1)

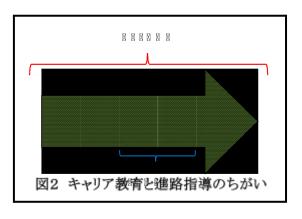


図1 人とかかわる力(人間関係形成・社会形成能力)

このツールは幼児・児童・生徒が夢や目標を考えたり、自分自身を振り返ったりするときに活用できるものです。子どもたちが「今できることは何だろう」「できるようになりたいこと、頑張りたいことは何だろう」など考え、保護者の方々や教員と対話的なかかわりをしながら活用します。子どもたちの自己有用感の醸成や、自己変容の自覚の向上に結び付けてほしいと思います。

「キャリア教育」は生涯を通じて行う教育です。(図2)早期からのキャリア教育によって、将来、社会で活用できる能力を身に付けやすくなります。

今、学習していることが何につながっているのか、何ができるようになるのかなどを教員が意識しながら、全ての教育活動においてキャリア教育を実践していくことが重要です。幼児・児童・生徒が自



分らしく生きる力を身に付けられるように、学校全体で取り組んでいきたいと 思います。

進路部